



藻場と地域の創造：人が変わり・地域が変わり・未来を創る“地域共創トランジション教育”

地域づくり法人：一般社団法人 地方創生機構 代表理事 中岡 恵司

令和7年度 里海セミナー

主催：環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所  
令和7年12月17日(水) 松山市男女共同参画推進センター



# PROFILE

(ナカオカ ケイジ)

## 中岡 恵司

地域密着型 実践主義者

総務省認定 地域力創造アドバイザー

愛媛県八幡浜市 在住 (2007年：柑橘農家の後継ぎとして、東京より移住)



● 愛媛ダイビングセンター <地域ESD活動拠点> 代表

(愛媛県海岸漂着物対策活動推進団体)

● 地域づくり法人 一般社団法人 地方創生機構 代表理事

・ 5省共管の環境教育等促進法に基づく環境教育等支援団体指定

(共管の5省：環境省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)

・ 環境省「令和の里海づくりモデル事業」採択 (令和6年度) 愛媛県初

● 海底ゴミ海岸漂着物等対策協議会 会長

- ・ 地域資源を生かした持続可能な観光まちづくりの戦略ビジョンの実施・企画事業
- ・ ESD (持続可能な社会を創造して目指す学習や活動、次世代の担い手を育む) 取組支援
- ・ サステナブルな観光の推進、豊かな自然と歴史文化を未来に繋ぐ街づくり支援
- ・ 責任あるまちづくり & 責任ある観光と地域住民と観光者との共感の観光体制の構築
- ・ 創造力や発想力を育てるビジネス及び官民学と連携させた住みつづけられる\*まちづくり

・ 第15回「エコツーリズム大賞」第1回パートナーシップ賞 [全国初受賞] : 環境省主催

・ 第17回「三浦保環境賞」愛媛県知事賞 : 愛媛県主催

・ 第6回 四国環境パートナーシップ表彰 地域課題解決部門 優秀賞

主催：四国環境パートナーシップオフィス (四国EPO) / 共催：環境省中国四国地方環境

事務所四国事務所、四国地方ESD活動支援センター (四国ESDセンター)

・ 藻場造成と地域共創活動に対する国際表彰「CERTIFICATE OF EXCELLENCE」 JAN.2023



環境・教育・観光・気候変動・経済etc. 多分野横断統合型の地域共創トランジション (社会変革) 教育ディレクター



メディア出演、講演：多数 (子供～社会人、自治体まで対応)

てやんでえ べらぼうめ  
五月の鯉の吹き流しの  
生粋の江戸っ子

● 観光 ● 環境  
● 教育 ● 地域づくり

### 四冠達成

環境省の五大主務局を横断した  
稀有な地域共創の実践者



気候変動適応対策  
環境教育・支援  
観光高付加価値化  
6次産業化  
地域産品の販路拡大



ブルーカーボン  
藻場の造成

受賞履歴

2022年度 秋の海洋調査にて！

# 海域の南方化が進行

八幡浜市 [佐島]

2022年度の秋の調査にて  
前年よりサンゴの群落拡大を確認

## 佐田岬半島宇和海

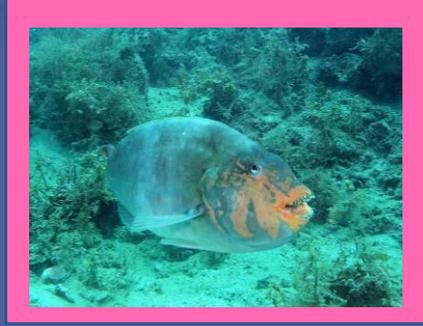
藻場の消失に伴い  
生態系の変化に注意



気候変動の最前線地域



熱帯系植食性魚類ブダイの北上や  
雑食性のガンガゼの繁殖に注意！



2022年7月：八幡浜市にて熱帯性の海藻

ヒイラギモクの群体を確認

西予市明浜町（高山）から

八幡浜市が日本の北限に！

おさかな牧場「シーロード八幡浜」

南方化の進行スピードが速い  
5年で20km

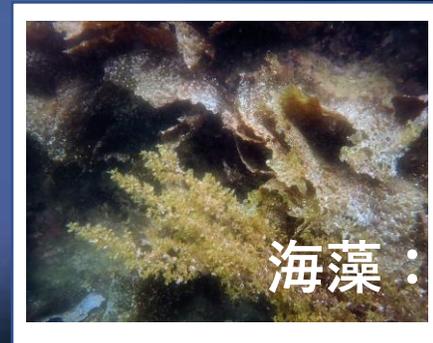
直線距離にして  
約20km

熱帯性の海藻の  
繁殖により、クロメは消失

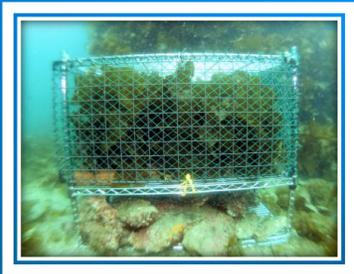
僅か  
2~3km



海藻：クロメの  
南限を確認



海藻：アントクメの北限を確認



# 藻場BANK造成にて クロメの新芽が繁茂



水深8~17m、周囲35mに、クロメの繁茂



スチールラックを活用した簡易藻場造成



藻食性魚類の食害対策ネット  
トリカルネット34mm目の交換式へ



母藻は藻場BANK内で浮遊させず、ワイヤーネットにて固定を行う



広範囲に新芽が繁茂

[海藻クロメの創生]  
8ヶ月後、水深8~17m  
の周囲34mの広範囲にて  
新芽の繁茂を確認。

里海づくりの後継者育成  
各市町：地域おこし協力隊



次世代の社会の担い手育成

気候変動適応対策、ブルーカーボン、〇〇と山里海連環  
[持続可能な地域づくり]

〇〇を浮き具として活用した延縄式造成法  
〇〇に予想外の効果：遊走子が付着から新芽が繁茂



before



藻食性魚類による食害

3ヶ月後

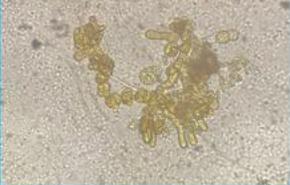


After

拡大

関係者外秘

雌性配偶体と芽胞体



環境コンクリート  
による環境負荷汚染

海藻クロメの雌雄配偶体の培養による種苗付きロープによる実証実験



設置2ヶ月後：  
新芽17cm大まで成長



付着部の張りは不良

設置5ヶ月後(5月)：  
食害が現れ出す



付着部の張りが良好



生成AI image

正しい設置時期、母藻を固定、  
〇〇を数珠繋ぐことで海藻林に！  
(食害対策へと水温変化で移設)

# 体験にて地域共創へと意識変化



# 体験型環境学習

興味を育み、生物多様性と気候変動の問題を学ぶ  
[次世代の社会の担い手を育てる]



藻場と生態系を観察

## ブルーカーボンの学びへ



地域の海藻にて南方化の進行を知る



## 教育委員会 ESDの講義



360度VR映像にて、地域の自然観察

多自然型居住地域の特性を生かして地域に修学の場づくり「体験の機会の場」へ!



海の酸性化について学ぶ

放置竹林に手を加え、竹の漁礁づくり。山と海の繋がりを学び、海の豊かさを守る  
伐採すべき、竹から学ぶ



国際理解教育

山と海の繋がりを学び、海の豊かさを守る



固定のし易さや形も考慮して設置後の観察も!

※「未来を拓く環境教育.ESD」については別講演にて!



# 地域共創トランジション教育 社会システムの変革



## 気候変動による影響が増大



### 10年先は...

- ① 持続可能な未来の姿を描く
- ② 未来から現在に逆算を行う

③ 未来の当たり前を実践している人を見つけないければ自分で始める(挑戦的な取組実施)

④ 今ある(時代にそぐわないような)システムを時間をかけながら徐々に変えていく

CSV経営へ移行

社会や環境に貢献しつつ社会的価値を創造、経済価値も向上

## フロントランナー



(どのように外して  
フォロワーを増やしていく)

## 主たる利害関係者は誰か

「山が海を守り、海が山を守る」持続可能な好循環形成 - 地域循環共生圏 -

# 山と海と里をつなぐ「地域を豊かにする物語」

多自然型居住地域: 農漁村と都市部の相互補完 / 未来の災害(気候変動)への適応と予防

都市部や道の駅で販売



県産希少品種: 媛小春の搾汁 ブランド化



ネット販売サイトの拡充



豊かな自然の恩恵を受けて育つ柑橘

## [海・里・山 連環]

### 課題 気候変動による影響

台風・高温等による被害多発



### 食品ロス問題Ⅰ

## 対策

傷物の柑橘の  
ストレートジュース化

## 地域資源の高付加価値化

## 地域ブランディング

— 伊予灘ものがたり —  
観光列車の提供MENUへ



県内のジュース コンテスト受賞



大都市圏の大型デパートにてバイヤー厳選  
の逸品へ選定!



[CSV経営による協働]  
環境保全や社会に貢献しつつ、  
社会価値を創造し、経済価値も向上

首都圏店舗との協働パートナーシップ  
< 駅近・デパート内等の店舗にて販売 &  
観光PR等 / CSV経営による協働 >



“海育”  
対象商品  
(還元)

## 環境・社会・経済の好循環

### “海育” 売上の一部を 環境保全活動へ還元



環境教育

海藻を育む  
ブルーカーボン  
気候変動適応策

ふるさと納税 協力事業者へ



## 経済 / 販路拡大

### えひめの里海シャーベット



## 次なる課題

ストレートジュースの賞味期限  
(約1年) による売れ残り

## 解決策

(気候変動適応対策)

# 「地域を豊かにする物語」を描ける能力を“地域で育む”

複雑な課題に直面

気候変動 少子高齢化 地域経済の衰退

地域は今、転換点を迎えている

教える教育では対応しきれず  
変化に対応する力だけではなく  
変化をつくり出す力を育む教育が必要

地域づくり活動は、  
定量数値化データより、変化にアンテナをはる  
「地域は、数値化されない価値で動いている」  
そして「人が変わること」から始まる

多分野 多層

環境 気候

教育 海洋

観光 生態系

経済 文化

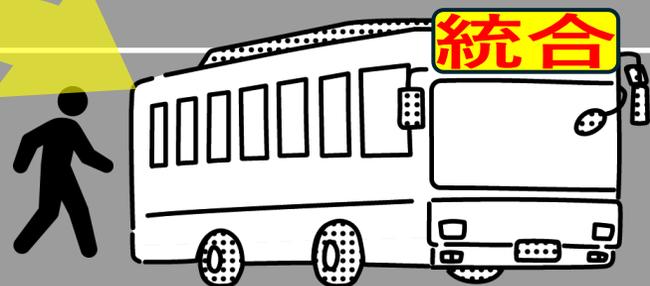
行政 世代

企業 制度内外

研究機関

農林水産業

横断



統合

持続可能な地域づくり

(地域 × 学び × 育成 + 変革) + 気候変動適応



地域密着型の  
理論知と実践知にて  
多分野多層を横断  
統合する力を育む

## ① 徹底した「地域現場主義」と共感力

地域に深く入り、地域住民と同じ目線で地域  
課題に耳を傾け、真に共感する力を育む

## ② 「つながり」を見出し「循環」 を生み出す統合的思考力

多角的な視点から異なる分野や要素間の相互  
関係を見出す力を育む

## ③ 「実践」を通じた価値創造と 「発信」による共感形成力

実践を通じて生まれた価値を、人々に伝え、共感  
を呼ぶ「発信」の力を育む

# 「地域を豊かにする物語」を描ける能力を“地域で育む”

複雑な課題に直面

気候変動 少子高齢化 地域経済の衰退

地域は今、転換点を迎えている

教える教育では対応しきれず  
変化に対応する力だけではなく  
変化をつくり出す力を育む教育が必要

地域づくり活動は、  
定量数値化データより、変化にアンテナをはる  
「地域は、数値化されない価値で動いている」  
そして「人が変わること」から始まる

多分野 多層

統合

前に踏み出す力: 主体性、働きかけ力、実行力

考え抜く力: 課題発見能力、計画力、創造力

チームで働く力: 発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

## 学びにて“育まれる力”

- ・持続可能性の視点で考える力
- ・多様な価値観を理解し協働する力
- ・変化を創り出すリーダーシップ
- ・地域資源を活かす創造力

会議の雰囲気は責任追及から未来志向の話し合いに変わる  
「空気が変わった」「笑顔が増えた」「動き出す人が増えた」  
「意識が変わり仲間が増えた」

を呼ぶ「発信」の力を育む

「聞くこと」は忘れるなり、「聞いて・見ること」は覚えるなり、「聞いて・見て・体験すること」は理解へ

体験の機会の場づくりを実施！活動が連鎖

30by30の周知啓発

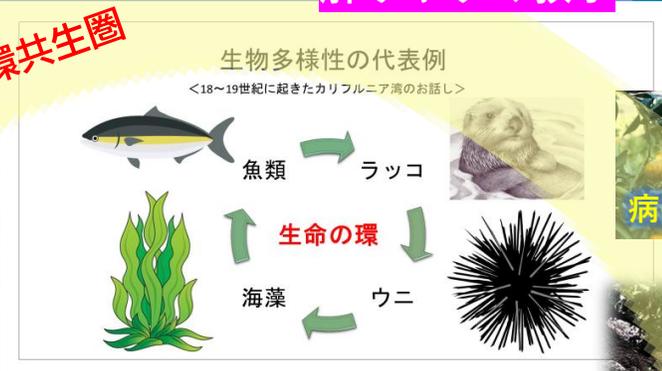
情報収集が行える体制づくりを構築と地域間交流の促進、定期的なモニタリング



地域ゴミの割合が多い海底



地域循環共生圏



3R活動

興味を育む

社会の変化と求められる能力を育みキーマンとなる人材の育成

里海づくり

体験型環境教育

持続可能な社会の担い手を育む/ESD

地域が学べば、地域が育つ

竹の漁礁づくり



地域法人との連携 (環境基金による支援) 地域情報発信

令和6年度「令和の里海づくり」モデル事業に採択 ブルーエコノミー 多様な主体と連携 地域資源の健全な存続と経済の両立へ

自立・自走へ収益還元 地域に雇用の場を創出

気候変動適応対策

藻場BANK造成

総合学習/環境学習

海の酸性化実験



海山連携

水槽実験：沈むプラスチック類



国際理解・文化多様性



VR海中映像で地域愛を育む



10年先を見据えたマネージメント

首都圏の飲食チェーンと連携 地域産品の販路拡大支援



地域資源を生かした観光造成/旅育

ブルーカーボン：吸収/隔離/貯留 (二酸化炭素)

ESDとCSV経営を併せたイベント

海山連携を担う環境づくりへ

自治体と連携設置 海美箱(ウミバコ) 観光者や地域住民の環境意識の醸成・PR

※. 海と親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する→海と人との共生へ

教育委員会にて

© 2022 中岡恵司/地域力創造アドバイザー



多分野横断統合型の教育&コンサルティング

小・中・高・大学生、社会人～企業・団体、自治体、省庁関連など

「教育にて社会変革を」を軸に、  
教育研修や講演、コンサルティングを通じて地域づくりを支えています。

お問合せ

